

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公表番号】特表2002-527545(P2002-527545A)

【公表日】平成14年8月27日(2002.8.27)

【出願番号】特願2000-575915(P2000-575915)

【国際特許分類】

C 0 8 F 210/02 (2006.01)

C 0 8 F 210/06 (2006.01)

C 0 8 L 23/00 (2006.01)

C 0 8 L 23/08 (2006.01)

C 0 8 L 23/14 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 210/02

C 0 8 F 210/06

C 0 8 L 23/00

C 0 8 L 23/08

C 0 8 L 23/14

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月28日(2006.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

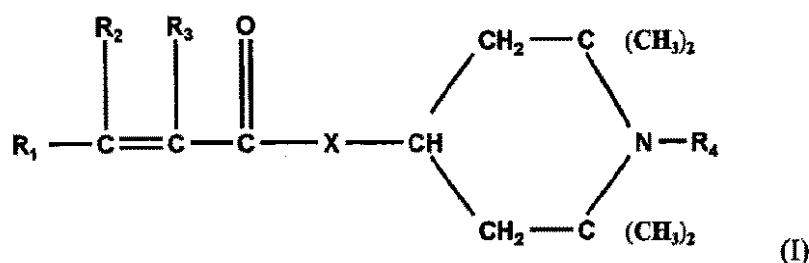
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 エチレンまたはプロピレン(A)と式(I)

【化1】



[式中、XはO、NHまたは NR_5 であり、 R_1 、 R_2 および R_3 は互いに独立してH、 $C_1 \sim C_8$ アルキル、 $C_1 \sim C_8$ アルケニルまたは $C_1 \sim C_8$ 置換アリール、 R_4 はH、 $C_1 \sim C_8$ アルキル、 $C_6 \sim C_{12}$ シクロアルキル、 $C_1 \sim C_{10}$ アシル、 $C_1 \sim C_{10}$ アシルオキシまたは $C_1 \sim C_8$ アルキルエーテルであり、 R_5 は $C_1 \sim C_8$ アルキルである]を有するビニル化合物(B)とのコポリマーから成り、この場合、該コポリマーは(A)と(B)との共重合により製造され、その際、該コポリマーは(B)を1～4モル%含有し、かつ該コポリマーは $MF R_2 \quad 1 \sim 1000 \text{ g} / 10 \text{ 分}$ を有することを特徴とする、ポリマーのための安定化剤。

【請求項2】 $X = O$ 、 $R_1 = R_2 = R_4 = H$ であり、かつ $R_3 = CH_3$ である、請求項1に記載のポリマーのための安定化剤。

【請求項3】コポリマーが、(B)を1.2 ~ 4モル%含有する、請求項1または2に記載の安定化剤。

【請求項4】コポリマーが、(B)を1.5 ~ 4モル%含有する、請求項1または2に記載の安定化剤。

【請求項5】MFRが10 ~ 400 g / 10分である、請求項1から4までのいずれか1項に記載の安定化剤。

【請求項6】請求項1から4までのいずれか1項に記載のコポリマーのみを安定化剤として、光安定化剤と熱安定剤の組合せ物として含む、ポリマー材料。

【請求項7】(B)がポリマー材料に対して0.01 ~ 0.80質量%含まれる程度の安定化剤の量である、請求項6に記載のポリマー材料。

【請求項8】(B)の量がポリマー材料に対して0.05 ~ 0.60質量%である、請求項7に記載のポリマー材料。

【請求項9】ポリマー材料がポリオレフィンである、請求項6から8までのいずれか1項に記載のポリマー材料。